

コラム：欧州理系編「世界の女子学生」プロジェクト

「今回，“欧州の日本人バイオ研究者”以外に，もうひとつの企画を携えて欧州歴訪を計画した。“世界の女子学生：欧州理系編”だ。欧州各国のバイオ系女子学生のキャリアパスを調査する企画だ。その大学で一番の美人女子学生に登場してもらい，セクシーな写真をたくさん撮ってビジュアルな記事に仕上げようとした」と本文に書いた。実は，欧州各地で美女の写真をたくさん撮った。その一部を、『蛋白質 核酸 酵素』の原稿に使用したが，編集部でカットされ，掲載されなかった。

例えば，右の写真は，「第六章 ダンディー大学(スコットランド)の田中智之先生」の原稿に使用したキャリア嬢だ。田中智之先生から次のメールもきた。

「受付嬢のキャリアに，先生の記事の写真を見せたところ，使ってもらってかまわないということでした。記事に，自分の写真が載っているのを見て，とてもうれしそうでした。編集部の判断で，載らないかもしれないことも，話しておきました。彼女の写真が載ると，ポスドクや院生の応募が増えそうなので(笑)，できるだけ載せるよう，編集部をお願いしていただけると，うれしいです。もし載ったら，キャリアにも，雑誌を一部送っていただけると，喜ぶと思います」。

不肖・ハクラク，田中先生のメールを編集部に転送し，「できるだけ載せるよう」編集部をお願いした。しかし，カットされてしまった(˘_˘)；。田中先生，スンマセン。

右の写真は，「第九章 欧州旅行を終えて：エピソード編」の原稿に使用した女子学生(スペインのマドリッド・オートノマ大学)だが，これもカットされた。『蛋白質 核酸 酵素』は，堅いバイオ研究誌だから仕方がない。原稿量が多かったのも，どこかをカットする必要もあったんだろう。でも，残念である。左はスイスの駅で見かけた女子学生(風)，下中はポルトガルのコインブラ大学の妖艶な女子学生(風)だ。下右はエストニアの交差点で信号を待つ女子学生(ではない?)。大胆なカットなので，やはりカット? 前後，間違えて着たらタイヘン。

